

「われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、
平和のうちに生存する権利を有することを確認する。」

～～～イラク戦争開戦6周年～～～

オバマ政権のもとでイラク戦争開戦6周年を迎えました。米国の反戦運動は、3月21日ワシントン1万人、ロサンゼルス4千人、サンフランシスコ4千人など各地で集会・デモが敢行されました。規模においては昨年よりも小さいものとなっていましたが、イラク・アフガン帰還兵たちの闘いが前面にでるという特徴がありました。

リブインピース主催で3月22日 映画&講演会「冬の兵士が語る『対テロ戦争』の真実」を行いました。『冬の兵士』はジャーナリストの田保寿一さんが、イラク戦争の本質を検証するために、2008年3月にワシントンDCで行われたイラク帰還兵による証言集会・ウィンターソルジャーでの証言と独自に行った取材をもとに編集し、自らナレーションをおこなって作り上げたドキュメンタリー映画です。50名を超える参加者で、映画「冬の兵士 - 良心の告発」の上映の後、制作者である田保寿一さんの講演を聴き、質疑応答を行いました。



田保さんは、映画に十分に入れられなかった問題として、帰還兵の自殺問題とPTSD（心的外傷後ストレス障害）、TBI（脳障害）問題を補足し、とりわけTBIがイラク戦争の特徴であることを説明されました。また戦争の目的がでっち上げであったこと、つまり「戦争の大義」が喪失したことが、深刻な精神疾患をもたらしていると語られました。またベトナム戦争では10年程度たってホームレスが増えるようになったが、イラク戦争では即ホームレスになっているなど「帰還兵問題」が深刻な段階に入っていることを明らかにされました。



帰還兵の息子を自殺でなくした母親の証言の紹介で田保さんは、証言をした夫婦の様子にもふれながら、母親の証言を読むとき何度も涙がでて声を詰まらせておられました。会場の参加者も目を真っ赤にして聞いていました。



「映画&講演」の感想を沢山いただきました、リーブインピースのホームページに記載してます。

当日配布したリーフレットです、資料、写真などは「冬の兵士 - 良心の告発」公式ホームページ

<http://wintersoldier.web.fc2.com/wintersoldier.html> およびDVDより引用しています。

是非各地で映画会、講演会などを企画してください。

リーブ・イン・ピース@カフェ（例会）報告



4月5日（日）午後1時～4時半、浅香人権文化センターで、リーブ・イン・ピース@カフェを行いました。

内容は、1)「冬の兵士 - 良心の告発」の映画&講演会を終えて

の感想と今後の「冬の兵士」の上映の取り組みについて

2) 情勢... 北朝鮮のロケット発射と日本の異常な宣伝と有事態勢の発動について 「海賊対策」を名目にしたソマリア沖派兵について

3) パレスチナ問題と現状 4) 岩国市の米海兵隊岩国基地周辺住民476人が国を相手取り、米軍再編に伴う米空母艦載機移転と米軍機などの早朝・夜間の飛行差し止め、騒音被害に対する損害賠償などを求め提訴するという事で、岩国基地の訪問報告 5) 「慰安婦」問題の取り組み など盛りだくさんでした。



恒常的海外派兵と武器使用緩和を狙う「海賊対処法」反対！

4月23日「海賊対処法」が衆議院で強行採決された。議論の場は参院に移った。民主党は反対しているとはいえ、争点を手続き問題に矮小化している。採決には応じる構えだ。反対世論を拡大し、成立を阻止しよう。

「海賊対処法」は、海外派遣法として初めて、日本の「国益の防衛」を全面に掲げた法律だ。露骨な帝国主義権益の防衛、途上国に対する先進国共通の利害の維持、植民地主義的な輸送ルートの確保を目的にし、秩序を乱す者への殺戮をも含めた懲罰をさだめるというかつてない法律である。

「海賊対処法」は、(1)任務遂行のための武器使用、(2)外国艦船も含めた防衛など、従来の派兵法にない、全く新しい枠組みに踏み出そうとしている。集团的自衛権の行使につながる。「海賊対処法」は事実上の海外派兵恒久法の先取りであり、護衛艦を海外に常駐させておくことを最大の目的として成立につき進もうとしている。海外派兵にあたっては、国会承認など全く必要ない。イラク特措法やテロ特措法と違って、時限立法ではない。一度派遣してしまえば、永久に派兵し続けられ、また防衛相の派遣命令だけで派遣できるなど、危険きわまりない内容をもっている。

こんな危険な法律を絶対に成立させてはならない。

2009年4月15日

リーブ・イン・ピース 9+25

「グアム移転協定」の衆院強行採決を糾弾する！

沖縄に負担を押しつける辺野古新基地建設反対！

4月14日、政府・与党は衆議院本会議において「グアム移転協定」(批准承認案)を強行採決した。辺野古に新基地建設を押しつけ、グアムでの米軍基地建設に日本の国家財政をつぎ込む内容である。与党は、衆院解散総選挙を念頭に、ごり押しで協定承認を急いでいる。米軍再編を規定した工程表(「ロードマップ」2006年)は「政治声明」にすぎず、承認されずに政権が交代すれば解消される可能性もあるからだ。衆院で与党が圧倒的多数を占める現国会で何としても力で押し切ろうというのである。協定は条約に準ずることから、仮に参院で否決されても「衆院の優越規定」で参院送付後30日で自然承認されることになる。政府は5月上旬、協定発効を狙っている。

沖縄県議会は、3月25日の2月定例会最終本会議で、グアム移転協定を批准しないよう政府に求める意見書を可決している。強行採決は、現地の声を無視し「議会制民主主義」の衣をもかなぐり捨てる暴挙である。我々は断固糾弾する。

2009年4月14日

リーブ・イン・ピース 9+25

その他のホームページの記事紹介

映画の紹介 「沈黙を破る」(土井敏邦監督)

東京・ポレポレ東中野にて5月2日(土)より

(5月23日(土)より、全4作『届かぬ声 パレスチナ・占領と生きる人びと』も同時公開)

大阪・第七芸術劇場にて5月9日(土)より

京都・京都シネマにて5月23日(土)より

3/29 キャンプ座間フィールドワークに参加して



**米陸軍第一軍団の建物とゴルフボールの飛び出し
現場を見て、在日米軍に恐怖を感じ、基地被害を実感**

4/10、4/12、4/15 米国の反戦運動と人民救済運動の新たな動き(上)、(中)、(下)

4/16 米国の反戦運動と人民救済運動の新たな動き(上)に追加記事

4/13 [報告]「いま、大阪の教育があぶない! 3・28集会」(新勤評反対訴訟団)

4/23 [投稿]新たに目論まれている在留管理の危険性 - 今国会での廃案を目指そう

現在、在日外国人の在留管理に関する法律が改定されようとしています。これによって、在日外国人にとってはいっそう住みにくい社会になり、そして日本人にとっては、外国人「管理」を義務づけられ、否が応でも協力せざるを得なくさせられてしまいます。

4/23 反占領・平和レポート NO.60 イスラエルにおける右翼リクード連立政権の誕生と国際的な BDS 運動の拡大

4/27 [投稿]『はだしのゲン』が問いかけるもの~全10巻英訳完成・発売の記事を見て思う

リーブ・イン・ピース 9+25の予定

4月29日(水・休)

キューバツアー報告会

4月29日(水・休) 1:30 ~ 4:30

場所:浪速人権文化センター

主催:キューバ訪問団

協賛:リーブ・イン・ピース 9+25

3月25日~3月31日、10名のキューバ訪問団で、キューバの医療施設や都市農場などを視察しました。「持続可能な社会」を实践する社会主義キューバのツアー報告会に是非参加してください。

[関連記事]

[リーブ・イン・ピース 9+25のラテンアメリカ・キューバのページ](#)

[阪南中央病院労働組合キューバを知る会のページ](#)

5月17日(日)

柳本飛行場フィールドワーク

~ 朝鮮人強制連行と日本軍「慰安婦」をたどる

5月17日(日) 午前11時 JR柳本駅現地集合

柳本駅(JR桜井線)へは電車の本数が少ないです。遅刻には気をつけて。

(1)天王寺 9:44 発(高田行快速) 高田のりかえ 10:24 発(奈良行) 柳本 10:47 着

(2)天王寺 9:59 発(加茂行快速) 奈良のりかえ 10:40 発(和歌山行) 柳本 11:00 着

なるべく(1)に乗ってください。

近鉄大阪線で桜井まで行く人は、JR桜井駅発 10:37 発(奈良行)に乗ってください。

昼食・レジャーシート持参をお願いします。

主催:リーブ・イン・ピース 9+25

参加費無料・要予約 連絡先:西中(090 - 5094 - 9483) 岡田(090 - 3724 - 9646)

リーブ・イン・ピース 9+25

TEL 090-5094-9483 (事務局 大阪) E-mail info@liveinpeace925.com

<http://www.liveinpeace925.com/>

郵便振替:00910-5-107564 加入者名:リーブインピース

リーブインピースの会員、賛助会員を募集しています。